

2024年度学校自己評価(かもめ幼稚園)

学校法人東海大学初等中等教育課

評価(Aよい Bおおむねよい Cどちらともいえない Dやや不十分 E不十分)

分野	重点目標	成果と課題	評価	改善策・向上策
園運営 (分掌)	学校評価（自己評価・保護者アンケート）をふまえ、学校運営上の課題について、改善する。	2024年度は創立50周年式典を中心として創立50周年を祝う形で行事を展開する一年となり、保護者、園児、教職員を中心に法人本部の支援のもと、関連の行事を成功裏に実施できたことを感謝したい。2023年度より実施している全保護者を対象にしたアンケートの結果をもとに、2024年度は安全・安心の環境促進のための施設の改善、整備を行い、2025年度から新設備の運用を開始する予定である。今後も保護者のアンケート結果を園運営に生かして、より安心安全で充実した教育環境の改善に務めていきたい。	A	2023年度から全保護者対象に行なっているアンケート結果をもとに2024年度は安心安全の園内環境作りの一貫として、園への出入りにフェリカカード式オートロックシステムを導入し、保護者、地域から更に信頼・支持される園作りを目指したい。
保育指導 (幼児指導) 教育課	主体的に興味関心のある遊び・及び課題に意欲的に取り組み、生きる力を身につけられる保育を展開する。	東海大学の幼児教育の教育目標に則った遊びを通した総合的な指導とともに東海大学の一貫教育の中で大学と高校の協力を得ながら他では経験出来ない体験活動を通して一人一人の興味・関心をさらに広げることができた。2024年度は創立50周年記念式典を実施する中で全園児が幼稚園の50歳のお誕生日をみんなでお祝いしようという気持ちが色々な行事や保育活動に体现された一年となり、周年行事という貴重な経験を通して色々な課題に取り組み成果をあげることができた。	A	今後も東海大学における一貫教育システを生かしながら、幼児教育の教育目標の主旨に沿って、遊びを通した総合的教育の一層の充実を図り、生きる力、創造性溢れる園児の育成に努めたい。
クラス指導	教育目標を取り込んで、学級運営と学年運営の充実を図り、特色あるクラス指導をする。	東海大学の幼児教育目標をそれぞれのクラス担任の学級経営方針に生かし、挨拶の励行など年齢や学年に応じた指導を踏まえながら、一定の成果をあげることができた。就学前に必要な幼小の接続、学びに向かう力の養成など非認知能力を高める活動内容を今後さらに充実することが求められる。	B	安心・安全の環境の中で教育目標を具現化した多彩な教育活動を推進し、特色あるクラス作りを目指すしたい。
生活指導	自立できる子どもをめざして、それぞれの子どもの成長に寄り添って、発達段階を見据えた指導をする。	基本的生活習慣の獲得と定着に向けて一人一人に応じた指導・援助を丁寧に行い、自立に向けて各家庭と連携をとりながら、生活習慣として根付くように指導していきたい。	B	幼稚園のみならず、各家庭との連携、協力を得て、持続可能な幼児期に身につけたい生活習慣の獲得を目指すしたい。
就学指導	就学について、情報を提供し、さまざまな相談に応じ、適切な指導をする。	小学校見学、連絡会などを通した幼小の交流、情報交換により、一人一人のスムーズな就学に繋げることができた。対面だけではなくオンラインを活用した小学校との連携を今後も継続しながら、緊密で適切な就学指導を行っていききたい。	B	小学校との連携、情報交換の内容は必要に応じて保護者に発信し、小学校就学への安心と期待につなげていきたい。
特別活動	園行事や保育活動等を通して、豊かな情操を培い、異なる学年との交流が図られるよう指導する。	2024年度も引き続き一貫教育の中で高校と幼稚園の教員が互いを訪問し授業を行うという「東海キッズ学びタイム」「サタゼミ」を計画したが、50周年記念式典、関連行事実施の関係で予定通りに実施できなかった。園児の興味、関心を高め、豊かな感性を育むことを目的に2025年度は計画的に実施していきたい。	B	大学や高校との交流だけでなく、中学校のナイスライ、近隣地域との交流を通して、人との関わり、豊かな情操を育む機会を多く持ちたい。
研修	保育改善、研修、自己課題等に積極的に取り組み、先取的保育が構築できるように研鑽する。	2024年度はコロナ禍を経て対面での研修会にも積極的に参加し、対面での直接対話を通してより深い学びを得ることができた。各人での研修での成果を現場の指導に生かし、より質の高い保育・教育の獲得を目指し積極的に研修に取り組みたい。	B	一年間の研修テーマを設けて、今後も園内外の研修会に積極的に参加し、教職員の更なる資質向上を図りたい。